

国際福祉機器展2019特集!!

H.C.R. 2019 (国際福祉機器展2019) へ行こう!

今年のH.C.R.は2019年9月25日(水)~27日(金)に東京ビッグサイトで開催されましたが、東京パラリンピック・オリンピックの影響でいつものホールとは違うホールでの開催でした。全体的に狭い印象で出展社は438社(昨年:546社)、3日間の累計来場者は105,675人(昨年:119,452人)と昨年より少なくなりました。

H.C.R.には福祉機器メーカーやディーラーだけでなく公的機関やリハビリテーション関連施設・団体なども出展しています。15年以上出展している国立障害者リハビリテーションセンター研究所や総合せき損センター、吉備高原医療リハビリテーションセンターなどで、日頃の成果を発信し広報しています。団体はPT協会やOT協会などですが、今年は日本リハビリテーション工学協会が15回目の出展ということで感謝状が授与されました。こういった関連施設や団体の活動に触れることもよい刺激になると思います。

2020年は10月21(水)~23(金)です。H.C.R.2020へ行こう!
(神奈川県リハビリ病院 研究部 沖川 悦三)

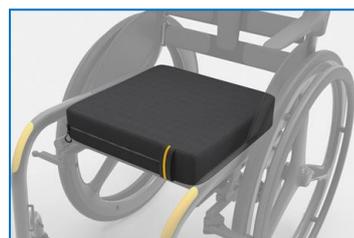


知って得する! 今年の耳寄り情報★

◆安心・安全な座りをサポートする車椅子クッション◆

パワークッション molten

車椅子専用で作られたクッションは様々なタイプのものが存在する。脊髄損傷のように臀部の感覚がなかったり、自身の力で座り直しや除圧ができなかったりする方に対し、褥瘡予防のために除圧性能が高い空気室構造のクッションが用いられることが多いが、そのようなクッションを用いても褥瘡ができてしまうことはあり、再発予防に頭を悩ませることがある。今回、モルテンからは、自動空気調整と自動除圧機能がついている高機能なクッションが発売された。実際に座ってみるとお尻の下で空気が流動しているのがわかった。ベッドマットレスの技術を取り入れられており、今後の褥瘡予防クッションの選択肢の一つとして期待したい。



(神奈川県リハビリ病院 リハ工学科 松田 健太)

◆下肢駆動に特化した車椅子◆

今回、HCRの車椅子のなかで、私の目を引いたのが、下肢駆動の車椅子です。下肢駆動に特化した車椅子は、あまりなく、国内では日本人の体形を考慮した低床型や、調整機能が限られてしまうものがほとんどです。

今回、展示されていた「LIBERTY FT」は座面角度(車椅子の前座高・後座高の高さ調整)の調整幅が広く、様々な座位保持装置との組み合わせが可能で、折り畳み機構も工夫されています。また駆動時の下肢のクリアランスも考慮されており、様々な姿勢での下肢駆動評価も行えます。今後、国内で販売されていく予定のようなので、車椅子の選択肢が増え、ユーザーの生活拡大に寄与することを期待しています。

(神奈川県リハビリ病院 リハ工学科 辻村 和見)



◆邪魔にならずに済むシャワーチェア◆

UltraSlim アロン化成株式会社

今回従来品よりもかなり薄くて軽い、楽に持ち運びができる業界最軽量・最薄の新製品を紹介します。単独入浴でも介助入浴でも、身体を支えながら簡単に片手で折りたたむことができ、折りたたみ後厚みが従来の27cmに比べて15cmとかなり薄く、自立する構造になっています。入浴環境を検討する際、「家の浴室狭いので。」と話を聞くことがあります。浴室洗い場でのシャワー椅子の設置スペースや、収納スペースの問題、また、一人の場合でも、介助の場合でも使用後の立位を保持しながらの折りたたみや、移動の問題を解消できる1つになるかもしれません。

(一木 愛子)



◆摩擦を軽減するシート◆

フィットシート (有) ホームケア渡部建設



今回摩擦を軽減するシートを紹介します。ベッド上で移動を行う際、身体との摩擦により介助負担は増加します。特に、対象者を上方へ移動する際の介助負担は大きいです。そこで、シートに滑りの良い素材を編み込むことで滑りが良くなり介助負担が軽減します。実際に私が、ベッド上で動かされたり動かす体験を行い、スライディングシートを引いたかのように滑りが良好でした。シートと一体化しており、そのまま洗濯も可能とのことで、病院や施設だけでなく、在宅での使用も可能だと思います。

(小泉 千秋)

◆視覚障害がある方をサポートする音声言語器◆ SmartReaderHD (株) 日本テレソフト

視覚障害がある方が気軽に使える音声言語器を紹介します。この商品は、読み上げたいものを機器の前にセットして、「キャプチャ(取込)ボタン」を押すと画像として取り込んだ後にテキスト変換を行い、「読上げボタン」を押すと文字を読み上げてくれます。実際に体験してみて、取込から読上げまで30秒ほど待つだけで、スムーズに操作ができた印象を持ちました。

(瀧澤 学)



◆最新の移乗機器◆ スピラドゥ 豊島株式会社

デンマークで支持されているスライディングシート、「スピラドゥ」をみなさん知っていますか?

スピラドゥは、対象者と介助者の動きを妨げる摩擦を軽減する目的で使用されるシートです。移乗場面だけでなく、移動や寝返り、更衣など人が動く際に使用できるもので、医療現場においては看護師の方も工夫して使用しています。そのため使い方は二重にしていること以外は、みなさまの現場ニーズに合わせて構築することで、対象者や介助者の負担軽減に繋がり、自立支援にも使えます。手段の一つではありますが、広い視野をもつことで、その用途は拡大していくシートだと思います。

(神奈川県リハ病院 研究部 村田 知之)



◆医療・介護などのHOW TOテキスト◆

機器展では機器の展示と合わせ、医療、介護等のHOW TOテキストの配布や各種相談コーナーを設けているところがありました。横浜リハセンターは、住宅改造等について、マイクロソフトは、アンドロイドの設定について、その他多くの企業や団体で参考テキストを配布していました。また主催元的一般社団法人保健福祉広報協会では、福祉に関わる冊子の販売や配布もしていました。福祉機器展にそのような資料集を目的に行かれても良いとおもいます。

(磯部 貴光)

